

剣山サポータークラブ会報

～「地域の宝」剣山国定公園を次代へ継承～



剣山サポータークラブは、剣山国定公園を「地域の宝」として次代へ継承していくため、自然保護活動や環境学習に参加するなど自分にあったスタイルで活動を行うものです。活動については、活動情報をホームページ等で案内しますのでご参加ください。

植物を守る防護ネットの設置や公園内の清掃活動への参加

剣山をフィールドとした「環境学習」、山歩き講座などへの参加

SNSやイベントを活用した情報発信等による剣山サポーターの拡大



入会は、剣山国定公園の自然を大切に思っている方ならどなたでもできますので、裏面の入会届に必要事項を記入し、メール、ファクシミリ、郵便等でお申し込みください。

主な剣山サポータークラブ関連イベントカレンダー

4月	剣山山開き（登山リフト運行開始）
5月	剣山ニホンジカ食害防護柵管理作業 剣山クリーンアップ大作戦 美馬観光ビューロー
6月	剣山クリーンハイク（徳島県勤労者山岳連盟）
8月	ふるさとの山を登ろう（徳島県山岳連盟） 南つるぎスカイラリー（南つるぎ地域活性化協議会）山の日(11日)
10月	剣山紅葉祭り
11月	剣山ニホンジカ食害防護柵管理作業 剣山登山リフト運行終了

剣山サポータークラブホームページQR



剣山登山道ナビシステム

地図上で自分の現在位置がわかる！
登山届も提出できる！
安全安心な登山のためのアプリです。
今すぐダウンロードしよう！

無料

サービス利用の
通信費はお客様の
自己負担となります。



Available on the App Store
IOS



ANDROID APP ON Google play
Android

剣山サポータークラブとは

1 沿革

剣山サポータークラブは、剣山国定公園を「地域の宝」として未来に継承していくため、平成26年に設置したものです。

2 会員

入会届を出せば、個人・団体どなたでも会員になれます。会費無料。

3 事務局

徳島県西部総合県民局 保健福祉環境部(美馬)環境担当

4 サポーターの役割

サポーターは、自分にあったスタイルで自然保護活動や環境学習などの活動に参加し、剣山国定公園を支援していくものです。ホームページ等でお知らせする、剣山国定公園周辺での自然保護活動等の情報を参考に、自分ができる活動にご参加ください。メールアドレスをお知らせいただいている方には、イベント情報を電子メールでお知らせします。

5 これまでの主な参加活動

剣山登山道現地調査、三嶺クリーンハイク、剣山フォーラム、山のトイレマナーシンポジウム、剣山クリーンハイク及び樹木ガード巻き、三嶺登山道補修、ニホンジカ防護ネット管理作業、はじめての山登り講座、活動報告パネル展等

剣山国定公園とは

自然公園法に基づき、国立公園に準じる自然の風景地を保護し、自然とのふれあいを増進するため、国定公園として昭和39年3月に指定されました。剣山や三嶺を中心とした山岳地や祖谷溪、大歩危・小歩危を中心とした溪谷美が見所です。

連絡先

徳島県西部総合県民局 保健福祉環境部(美馬)環境担当
住所: 〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73
TEL 0883- 53-2060 FAX :0883- 53-2082 メールseibu_hfk_mm@pref.tokushima.jp
ホームページ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kurashi/shizen/7203597/>

剣山サポータークラブ入会届

●個人又は団体・企業のどちらかに氏名等をご記入ください。 年 月 日

個人	ふりがな	
	氏名	
団体・企業	団体・企業の名称	
	代表職・氏名	
連絡先	住所・所在地	
	電話番号	
	ファクシミリ	
	メールアドレス	
関心のある活動 に○印をつけて ください。 (複数回答可)	()自然保護	希少生物保護など
	()環境教育	ネイチャースクール、クリーンウォークなど
	()魅力発信	山歩き・アウトドア活動、SNSなど
	()その他	エコツーリズム、()など
	備考	

※会員の個人情報については、目的以外の使用はしません。
※電子メールアドレスをご記入いただいている方には、情報をメールでお送りします。

剣山サポータークラブ活動紹介



徳島県勤労者山岳連盟

徳島県勤労者山岳連盟は、県内の7つの登山団体の集まりで、安全な登山技術の普及と山岳自然保護思想の啓発などを目的として活動しています。主な活動としては、初心者を対象とした登山教室を始め、県内の山から日本アルプスまでの登山技術や知識を習得する教室、また冬山や岩登りを対象とした教室も開催しています。自然保護思想の啓発では、6月に「剣山クリーンハイク」を12月に「眉山クリーンハイク」を行い、さらにはニホンジカの食害防止のための活動や自然林の保護保全活動を県内の環境保護団体や行政機関と連携して行っています。皆さんと一緒に山登りなどをしませんか。



特定非営利活動法人 剣山クラブ

NPO法人剣山クラブは、豊かな徳島の山岳自然環境を後世にまでつなげていくことを目的に平成15年12月24日に設立しました。徳島県内には西日本第二位の標高を誇る剣山を中心に剣山国定公園エリアには自然豊かな山々があり、登山者のみならず大勢の観光客を招き、自然の素晴らしさを教えてくれています。一方、登山者や観光客が急増することによってゴミ投棄、植物の盗掘や施設整備に伴う開発など、さまざまな環境の変化や悪化、また特異な気象が原因になった自然災害による環境変化があり、こうした変化の現状を放置したり、点検や監視、復旧を怠ったりすれば、剣山をはじめ山々の希少な自然は著しく傷つき損なわれ、取り返しがつかなくなります。全国的にもまれな動・植物なども息つき生態系が保たれている環境を私たちの世代で絶えさせないように、後世に残したいと考えて保全保護活動に取り組んでいます。



徳島県山岳連盟

(<https://www.facebook.com/TokushimaGakuren>)
コロナ禍、徳島県山岳連盟では、「少年少女登山教室」をはじめ、ほとんどの、年間行事を中止せざるを得ない状況となりましたが、唯一、登山道整備(草刈り)は、十分に感染対策を行い、「天狗塚～牛の背」、「三嶺菅生道」、「丸石山直下」の3か所で登山道整備を行うことができました。笹が被さり登山道が不明瞭で歩きにくいことを感じていた登山者も多く、この計画に賛同してくれた一般参加者12人と当会会員23人、合計35人での草刈り作業となりました。環境保全に関心があり、実際に行動に移せる人たちがいることを心強く思います。歩きやすくなった登山道を活用していただくと幸いです。また、山登りの仲間を募集しています。皆さんと一緒に山登りを楽しみませんか。



特定非営利活動法人 三嶺の自然を守る会

三嶺山域の生態系は悠久の時間が創り上げました。山頂部の素晴らしい展望と奥山の雲囲気を醸し出す中腹の樹林は、訪れる登山者を魅了しています。ところが昨今のオーバーユース問題やシカ食害により自然環境に影響が出ています。この状況を受け、本会は2000年からこれまで ①踏圧による裸地部の植生回復 ②山域の巡視活動と登山道補修 ③山のトレイナマーアップと水場の水質調査を実施。シカ食害対策として ①単木ごとの樹木ガード活動 ②希少植物の保護と林床の再生をめざす防シカ柵の設置・補修 ③剣山山系でのシカ食害調査を実施しています。今後も三嶺の大切な自然を次世代へ繋ぐためこれまでの活動を継続します。多くの方々へ三嶺山域の現状をご理解いただき、活動へのご参加をお願いいたします。そして、本会は、山歩きが好き、山の花が好き、山の写真が好き、山へ車を走らせるのが好き等々、山大好き人間を募集中です。一緒に三嶺山域に行きましょう。

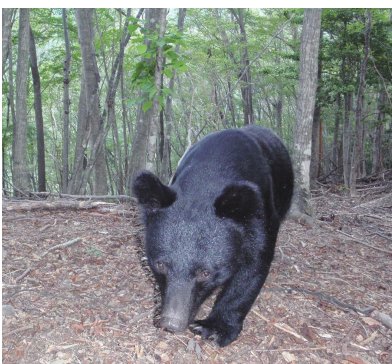
南つるぎ地域活性化協議会

南つるぎ地域活性化協議会は、徳島森林管理署、徳島県南部総合県民局、那賀町及び町内各種団体、県内山岳団体等で構成され、剣山系の南部を中心に、環境保全活動、観光資源としての魅力創出、地域活性化を目的に活動しています。環境保全活動は、日本鹿の食害を防ぐための「食害防止ネット設置」を9年前から継続し、捕獲した鹿肉の活用にも取り組んでいます。手つかずの自然が残る南つるぎを、広く知って頂くための登山道整備や標識の設置も行っています。また、毎週日曜日「山の遠足」として、南つるぎ地域で山歩きイベントを行い、2021年12月に600回を迎えました。活動状況は、ブログ「南つるぎサポーターズクラブ山の遠足」
<http://minami2012tsurugi.blog.fc2.com/>
YAMAP 南つるぎサポーターズクラブ 徘徊老人 でご覧ください。



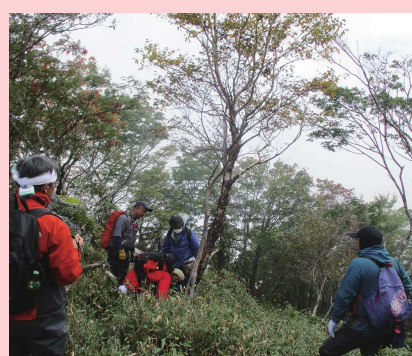
特定非営利活動法人 きざわクラブ

NPO法人きざわクラブは、ナカ奥(那賀町木沢、木頭地区)を中心に深い自然や剣山スーパー林道の魅力、伝統文化、郷土食を守り、紹介することで未来につなげる活動を行うため2017年1月12日に設立。具体的な活動では、県内外から登山客を募り、ナカ奥の四季や希少な動植物を知ってもらうツアーをほぼ毎週末に開催。また、徳島県新人研修の会場・講師を務め山国徳島県に秘められた魅力を紹介。いち早くジビエ料理(阿波地美栄)の普及に取り組み、きざわクラブが運営するレストハウスファガスの森「高城」で、鹿肉のカレーやハンバーグなどを提供。人気の名物料理となっています。加えて徳島文理大学の学生を対象に座学や解体体験などの講座を通じて阿波地美栄の普及に寄与しています。今後はイベント開催など多くの方々に楽しんでいただきながら、ナカ奥地域の活性化、自然環境の保護保全に取り組んでいきたいと考えています。



認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究 センター

私たちは四国全域を対象として、さまざまな野生生物の調査研究活動を展開し、得られた結果を基に人と生きものの共存方法を模索しています。センターでは調査研究活動の他にも、生物試料の収獲・保管、傷病野生鳥獣の救護、人材育成活動などを実施しています。剣山山系ではツキノワグマやニホンジカ、カモシカなどの生息状況調査を継続して実施してきています。四国山地のツキノワグマは国内で最も絶滅の可能性が高い状況であり、生息数は20頭ほどと推定されています。正確な生息状況を把握するために自動撮影カメラによる調査や捕獲調査などを行っています。調査で得られた結果は関係行政機関と共有し、保全活動に役立てています。剣山山系のいくつかの施設で調査成果やクマの生態を紹介したパネルを展示しています。剣山の豊かな自然の象徴でもあるツキノワグマについて、現状を知っていただき、その未来と一緒に考えていけたらと思います。



剣山観光推進協議会

剣山観光推進協議会では、剣山国定公園内の樹木を保護する活動を行うため、令和3年10月に当協議会メンバーのべ15人により剣山の西島駅から山頂まで尾根道ルート付近の樹木約160本に樹木ガードの設置を行いました。近年、剣山系の樹木が野生シカによる被害で次々と枯死する状況が続いており、剣山に生育している樹木がこうした状態にさらされ続けることに対し、今回実施した樹木保護カバーの設置事業は喫緊の課題であるシカの食害に対して有効であると考えます。しかしながら、保護カバーの設置は手間と時間がかかるため、作業人員の確保が重要となることから今後は、ボランティア等による作業人員を広く募ることで作業範囲を拡げていきます。また、こうした活動から剣山系に生息する植物の大切さやそれら植物が危機に瀕しているということ、そして私たちが取り組むシカによる食害防止対策事業について皆さんに知ってもらえるよう情報発信していきたいと考えています。